

## 関西の景気トピックス【消費関連（20年11月）】

- 20年11月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比マイナス7.0%と14か月連続の減少となっている。新型コロナウイルスの感染第3波の影響で、都市部を中心に客足が減少。売上を押し下げる形となった（業態別には、百貨店が15.3%減、スーパーが1.1%減）。
- コンビニ売上（経済産業省）の11月は、全店ベースで前年比マイナス1.6%と9か月連続で減少した。ただし、新型コロナウイルスの影響は4月を底に回復の動きがみられる。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の11月は、前年比プラス7.9%と8か月ぶりの増加となった。分譲住宅が2けた増と大きく増えた影響が大きい。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向は、大阪は直近で横ばいとなったものの、趨勢としては楽観できない。新型コロナウイルスの影響が所得環境の悪化につながる傾向があることから、今後も引き続き注意が必要となろう。

